

次期役員紹介

●バンドマスター
吉川伸幸

皆さん今夜はありがとうございました。4年生の皆さん、今後
も健康でJazzを愛し続けていって下さい。

学生バンドはその一年間で何か「いいこと」をやらなくてはなり
ません。今年同様来年も全員ガッツを持ってがんばろうと思っ
ています。いろいろな人間が集まっていろいろな音楽性をぶつけあ
ってそこにビッグバンドサウンドがスパークするような方向にも
っていきたいと考えます。今後ともニューオレンジをよろしくお
願いします。

●コンサートマスター
前崎行弘

4年生の皆さんおつかれさまでした。なにか淋しい気もするけ
れど、これからはもっと気持ちをひきしめてやらなければと思っ
ています。今年のひとつひとつのコンサートでのいろんな経験を
生かして、ここまで作り上げてきたNew Orange独自のサウンド
をもっとよくするために、精一杯頑張るつもりです。

“前進あるのみ!” 今後ともNew Orangeをよろしく!

●経理
飯野伸広

一番みんなにいやな顔をされるのが経理ではありますが、私の抱
負としては心を鬼にしてチケット代をいただくと思っておりま
す。しかし例年集まりが悪いそうで、来年も苦勞するでしょう。
クラブを裕福にするためにもマネージャー仕事とってきてネ!

●総務
青柳能明

来年度総務の仕事を課せられた今、その重大な責任を強力に感
じています。結局総務というのはクラブをいかにスムーズに運営
させるかを考え行動しなくてはと思います。そのためにもクラブ
全員の協力により最悪の事態だけは招かぬようがんばるつもり
ですのでよろしくお願い致します。

●マネージャー
青木幹夫
木村 茂
桜井 肇

C年の時マネージャーという大役を引きうけて以来、この大役
からものがれられず、かといって女性にもてるかと思えば全々そ
んなウワサすら出ず何を楽しみにこの三年間やってきたのでしょ
うか!?!しかし今日は晴れのリサイタル、成功させなければ、みな
さんGutsでまいりましょう。

それから又、私と木村君と桜井君とでマネージャーをやれとの吉川
大園長先生からの御命令でさからえもせず引き受けさせていただ
きますので、よろしく。最後にダンスパーティー結婚式等なんでも
当バンドは御受けいたしますので御電話などを……。

それから私個人あての電話でもけっこうですぞ。では最後まで、
enJoyしていただきますよう。

14th HOSEI UNIV. NEW ORANGE SWING ORCH. RECITAL

ALL ARRANGED AND COMPOSED by KOZABURO YAMAKI

ニューオレンジの皆さんリサイタルおめでとう。

今年の春、先輩の尾木君や、後を次ぐ鈴木君や前崎君等が家にみえて、今年はかなりメンバーの交代があり、(なんとか卒業できたらしい?)これから先が大変だとのことで僕も心配でしたが、先日(10月24日厚生年金ホール)おこなわれたコンサートに行き皆さんに逢い、ステージを見て、聞いて、ニューオレンジのみんなから、本当にジャズを演奏する喜びというものが見え、その心が伝わってくるのには大変ビックリしました。

この一年の短期間でこれだけジャズするには、メンバーの苦労はもちろん先輩たちが残してくれたもの又ステージ裏の皆さん(経理・総務・マネージャー・ボーヤ役など)全員の協力があればこそだと思います。人間の持ち得る知識や能力やテクニックなど限りがあるが、真心をこめて伝えようと努力すれば聴き手の人々に感動を与え強く訴えかける事が出来ると思います。今夜のコンサートもすばらしいジャズを聞かせてくれるでしょう。

山木 幸三郎

●プロフィール

宮間利之とニューハードのコンサートマスター(ギター担当)作・編曲家。

去年の秋のモンタレージャズフェスティバルに続き今年はニューポートジャズフェスティバルで大活躍されました。

ニューヨークでのことを聞かせてくださる山木さんにジャズを愛する心を感じる我々です。



ごあいさつ

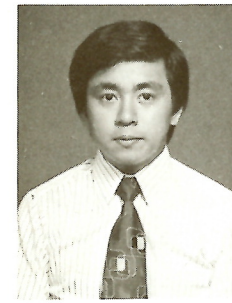


法政大学軽音楽
グループ部長
法政大学教授

中井 純

木がらしが吹いて紅葉がすっかり散ってしまうと秋は一入淋しく感じられます此頃ですが、本日はお忙しい中を、ニューオレンジスウィングオーケストラの今年最後を飾る演奏会において下さって誠に有難うございました。

伝統ある法政大学軽音楽グループのフルバンドとして恥かしくない演奏を聞いていただくために部員一同日夜努力しておりますが、学生バンドとしてなお一層成長していくためにも是非とも皆様方の御支援、御鞭撻をお願い致したいと存じます。



責任者 鈴木義明

本日はニューオレンジスウィングオーケストラ第14回リサイタルを開催するにあたり、皆様方にはお忙しい中を御来場いただき部員一同を代表して御礼申し上げます。

産声を上げてから16年目を迎えたニューオレンジ、私達はこの一年間常に新しい音楽的素材を追い求めそれに取組んでまいりました。また今年は様々なコンテスト、コンサートなどに出演し、その活動は非常に活発なものでありました。そして本日のこのリサイタルをもって本年度の総決算とするわけですが、またそれは4年生にとってはまさに最後のステージであり、残るメンバーにとっては新たな活動への布石でもあります。

今夜は山木幸三郎氏のペンによる作品を中心にステージを進めてまいります。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。なおこのリサイタルを開催するにあたり御指導、御協力頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

PROGRAM

1st Stage

- ★Gibraltar
- ★Adults Day
- ★Sunday Thing
- ★Dippin Snuff

2nd Stage

(Junior Time)

- ★Basie Straight Ahead
- ★Put it where you wantit
- ★Love for sale

3rd Stage

- ★Just Friends
- ★That's how I Feel
- ★Quintessence
- ★Lullaby of Birdland
- ★You don't know What love is
- ★You'de be so nice to come home to
- ★Country Blues

PERSONNEL

Sax	Tb	Tp	Rhythm
1st 鈴木 義明	1st 前崎 行弘	1st 高田 郁生	Dr 樋口 敏広
2nd 高見 沢洋	2nd 桜井 肇	2nd 延崎 史郎	Bass 大久保 俊彦
3rd 中原 幸雄	3rd 山崎 靖幸	3rd 高木 勲美	Gui 青木 幹夫
4th 吉川 伸幸		4th 立川 克也	P 小暮 利明
5th 多田 忠蔵			



コンサートマスター 前崎 行弘

毎年メンバーの変わる学生バンド、だんだん高度になる音楽。このようにめまぐるしく変化する中で、バンドの状態をいつもよく保つことはむずかしい。果して今年は何だけやれたらろうか？もっとひとりひとりの音楽性が高ければなあ！最近よくこんなことが頭にうかぶ。コピーの譜面をやっている消化しきれないようなところがありにも多すぎような気がしてならない。そこで我々なりにいいなあと思ったいろんな曲を山木さんにアレンジしてもらったり、オリジナルなどをこれまでに自分たちが吸収した音楽性で少しでもよいものをとがんばっています。

未熟なところは多いのですが、我々のジャズに対する情熱を少しでも感じてもらえれば幸いです。

最後に我々のためにすばらしい曲を提供して下さった山木さんに感謝いたします。

おつかれさまでした

鈴木義明 (バンドマスター)

多田忠蔵 (経理)

高田郁生

JAZZを愛する心に触れ……

時には共に酒をくみかわし……

はげまされ…… しかられ……

よき先輩…… よき仲間…… お元気で。

“お前どう楽器やめちまへ”と

いびられも C年の頃……

そして

同じ言葉を吐いている自分に

ふと気づく時

4年間という時の流れの速さを感じる

なんかこう妙に感傷的な気分になって

“センチメンタル ジャーニー”を口ずさんでみたり……

短かったニューオレ4年間

楽しかったニューオレ4年間……



ニューオレに入って3年目 もう4年生
最後のステージになってしまいました。

想い起こしてみるとこの3年間楽しかった。
こと苦しかったことは半々くらいなのに何
故か苦しかったことがまず浮かんできます。
合宿、コンパ、歌伴などは楽しい思い出として
のこっているけれどそれよりも何よりも楽
器運びの苦しかったことがすくうかんで来て
しまいます。3年の諸君も楽器運び精だして
ネ。今夜はジュニアの初ステージであると
同時に、4年生はラストステージ。お互へが
ンバロウ！

夕田



Junior Band

今晚は、第一部レギュラーバンドに続きまして登場致したのは、私達ニュー
ーオレンジ ジュニア オーケストラでございます。日頃はレギュラーバンドの
縁の下の力持ちとしてえぱりくさったレギュラーの日陰で私達は楽器運搬を本職
としてお茶くみからそうじまで雑用すべてをうけたまわっております。そんな我
々の夢も希望もこのステージにかけて、涙ぐましい練習を細々と、しかし真険に
続けてまいりました。こんな我々ではありますが、明日のニューオレを荷うべく
精一杯音を出しますので、どうぞ最後までよろしく御支援をお願いいたします。

PERSONNEL

SAXOPHONE	TRUMPET—	TROMBONE—	RHYTHM—
1st ::: 木村 茂	1st … 高木 勲美	1st … 前崎 行弘	Dr … 桶口 敏広
2nd … 吉川 伸幸	2nd … 延崎 史郎	2nd … 桜井 肇	和田 秀之
3rd ::: 中原 孝宏	3rd … 立川 克也	3rd … 山崎 靖幸	Bass … 大久保俊彦
鈴木 幸雄			青柳 能明
4th ::: 高見沢 洋			Cuj … 青木 幹夫
北村 真二			P … 小暮 利明
5th … 飯野 伸広			比永 幸義



長いようで、短かった四年間
そして短いようで果てはく
長くも感じた四年間。
恋に恋するようにジャズのジャの字
に恋をし、クリオード・ブライウンという
名前にうつつをぬかしていた入部したて
の頃。
で、やっぱりその感性まで戻ってはい
けないと長づいた。

ジャズをエンジョイするなんてとんでもない
わかった時、最近のことである。

永遠のアイドル ブラウニー！

高田郁生



今年の合宿は、8月下旬
長野県の木島平村で行い
ました。
(民宿前でおじさん、お
ばさんと部員一同)